



無理のないペースで行うのが長続きの秘けつ。新町長生会では75歳以下の会員が交代で下校時に見守っています

事例2
千厩小

「見守りリレー」で孫たちを守れ

「将来の千厩を背負うかわい
い孫たちを守るために」と千
厩町内の老人クラブが立ち上
ったのは17年12月。市老人ク
ラブ連合会千厩支部老人クラブ
(金野肇支部長)が27の単位ク
ラブに呼び掛け、小学生の下校時
の見守り活動がスタートしまし
た。会員が自宅の近所を見守る
ことから始め、現在は通学路を
見守っています。

腰掛けて無理せず見守り

「年寄りですから、無理しない
のが長続きさせるコツ」と話す

「同支部事務局長の加藤眞
四男さん。時には腰掛けながら、
家路につく子どもたちを見守り
ます。『道中ずつと付き添うのは
体力が必要。そこでわたしたち
はリレー方式で見守っています
』と加藤さん。千厩小学校(菊
池信一校長・児童430人)の校
区の場合、新町長生会から本町
長生会、夫婦石長生会とそれぞ
れのクラブが近くの通学路で安
全を確認しています。

「ありとあらゆる手段で、地域
ぐるみで子どもたちを見守って
いただいています。とてもあり
がたい」と感謝する菊池校長。千

厩警察署地域課の担当者はほぼ
毎日、通学路を自転車やパト
ロール、防犯協会防犯パトロー
ル隊や老人クラブは下校時間帯
に見守り。PTAは会員の全家庭
に「千厩小学校PTA安全サ
ポート」の腕章を配り、買い物
犬の散歩、車の運転など日常的
に腕章を目に付かせてほしいと
呼び掛け。学校では、防犯教室の
実施、学区内の安全マップの作
成、職員の見回り指導などを、そ
れぞれ行っています。

また、一関東地区防犯協会連
合会と千厩警察署が連携して行
っている「不審者情報等メール
配信システム」のモデル校とし
て18年6月から試験運用を開始。
現在は同校以外も含めて約28
0人が利用しています。これま
でも不審者情報が寄せられた際
にはPTAにチラシで知らせるこ
とを同校。「どう急いでも発生か
ら配布までに3日はかかりま
す」と菊池校長。メール配信シ
ステムはリアルタイムに情報を知
らせることができる点でありが
たいといいます。

感謝の気持ちを届けたい

同校PTA広報部長で、PT
A会報で子どもの安全に関する
特集を組んだこともある畠山と

き子さんは「親たちの世代は忙
しく、実際に見守り活動をでき
る人は少ない。親の代わりに行
ってくれている地域の方たちに
せめて感謝の気持ちを届けた
い」と語ります。PTAは18年11
月、防犯についてアンケートを
実施。その中の保護者からのお
礼の言葉を、老人クラブと防犯
パトロール隊に届けました。

5月11日の午後、千厩小近く
の老人クラブ・新町長生会(白石
安樹会長)では白石会長をはじめ
中澤仁さん、佐藤寿夫さん、小
野寺明さんが当番でした。横屋
酒造前に立っていた4人は元氣
に家路につく子どもたちと「気
をつけて帰ってね」「ありがとう。
さようなら」などと言葉を交わ
していました。「こんな小さな子
どもたちに『ありがとう』なんて
言われて……と少し照れた様子
で話す皆さん。町を通る人たち
も老人クラブの活動を知ってい
るので「こんにちは。ごろうさ
まで」と声を掛けながら行き
交っていました。



市老連千厩支部事務局長の加藤眞四男さん

専門家から



一関警察署生活安全課長 佐々木秀行 警部

19年になってから、一関警察
署管内では4件の声かけ事案が
発生しています(5月10日現在)。
いずれも無視したり逃げたりし
て事なきを得ていますが、安心
はできません。

保護者の皆さんは、▽通学路
を点検する▽防犯ブザーなどを
持たせる▽子どもの変化を見逃
さないなどの点に注意しまし
よう。また、警察へ通報する場
合は、声を掛けてきた不審者の▽
顔▽服装▽車のナンバーなどを
覚えておくことが必要です。
これらの点を注意するよう、各
家庭で子どもたちと話し合っ
ておきましょう。

見守り活動をしている方たち
は、不審者と間違われぬよう、
腕章などを身につけ、それとわ
かる服装をお願いします。

地域の交番と学校とは、密に
情報を交換しています。不安な
ことがありましたら、気軽に交
番に相談してください。